

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳



【シクラメン】

写真提供：事務局

第1888回

<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 大塚高弘君



【2010-2011年度 RIテーマ】

地域を育み
大陸をつなぐ

レイ・クリンギンスマス

会長報告

石垣 善康君

2月は、世界理解月間となっています。国際奉仕、国際親善、国際平和の推進するプログラムを再確認する月間です。

しかしながら、その精神は年間をとおして考え、活動をしなくてはならないと定義されています。国際奉仕活動の大きな柱が、ポリオ撲滅運動です。昨年、ビルゲイツが3億5,500万ドルをRIに提供しましたが、それに答えて、全世界のロータリアンが寄付を実行し現在1億6000万ドルが寄せられています。

又、各地のロータリークラブも活発に活動を行っています。

パキスタンでは、2010年にポリオの発症数が急増し政府が緊急の対策を本年、発表しました。パキスタンのロータリークラブは国内の隅々まで予防接種がいきわたるよう活動にあたっており、ザルダリー大統領は、国際ロータリーに対し感謝をのべ、RIポリオプラス委員長に大統領栄誉賞を与えました。

又、ロータリーの活動は、WHO - ユニセフなどと同じようにリーダー的な存在であると話しています。

アフガニスタンでは、米国のロータリークラブの呼びかけで、アフガニスタンの6つの高校の学生が、募金活動を行いました。

<レッツ、キック、ポリオ、フロムアフガニスタン>をテーマとして。

そしてこの活動に参加した高校生の一部はインターアクトクラブの結成に動き始めました。

アメリカでは、ジャズバンドがヨーロッパに遠征9回の演奏会を開催し、2万ドルを寄付しました。

世界のどこかでポリオに冒されている子供が一人でもいる限り、世界中の子供たちが同じ脅威にさらされている事になります。

言葉通り、撲滅まで私たちも注意をもって、運動に協力していきたいと思います。

理事会報告

酒向 謙次君

- 2月・3月度プログラムが承認されました。
- 次年度組織(委員会編成)が承認されました。
- 今年度のベネファクターを村松英昭君にお願いしました。
- 国際奨学生申請が出され、3/15 締め切りですので面接等を行い手続きを進めます。
- 次回理事会は3/9の11:30より行います。
- その他

移動例会について

2/16 グランドティアラ藤枝

3/23 ハルモニア です。

幹事報告

酒向 謙次君

- ザ・ロータリアン誌 1月号が届いております。
- ロータリーの友 編集委員会より、2011-2012年度版ロータリー手帳お買い上げのお願いが届いております。

出席報告

竹田 勲君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
30 / 43 69.76%	33 / 43 76.74%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

池谷君 石割君 河井君 酒井君
櫻井君 杉山君 鈴木勝君 鈴木寿君
仲田廣君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君

水野君

(2)メイクアップ者

河井 宏文君(藤枝南) 鈴木 勝弘君(静岡)

ビジター

伴野 正明君(藤枝南)

スマイルBOX

• 誕生祝ありがとうございました。年を重ねてよかったです。それは毎月の医療費が今までの1/3つまり7,000円くらいになりました。 鈴木 廣利君

• 会員誕生祝と結婚記念日祝。ダブルで大変ありがとうございます。年々としを感じていますが、皆様から若さを分けていただき頑張っていきたいと思います。

早いもので節目の20年を迎えました。まだまだ子育てに忙しい毎日ですがまたゆっくり祝いたいと思います。 鈴木 邦昭君

• 会員誕生祝。ありがとうございます。年はヒミツ!!

夫人誕生祝。ありがとうございます。

青島 彰君

• 家内の誕生祝をありがとうございます。

柳原 寿男君

• 皆出席表彰。ありがとうございます。

松葉 隆夫君

スマイル累計額 509,000円

「ロータリーの友」2月号紹介

クラブ広報担当 松葉 義之君

〔横書き部〕

1P RI会長メッセージ

『ロータリーのDNA』と題して 五つの価値観「親睦」「奉仕」「高潔性」「多様性」「リーダーシップ」をあげ、このDNAがロータリーの持続的な発展の基となると語っています。

5P 特集“世界理解月間”の記事として『海外クラブの例会に出席しました』でフランス、イ

ンド、ルーマニア、アメリカ合衆国、マレーシア、スペイン、ポルトガル、ブラジル等での例会出席の経験が報告されています。それぞれの特徴や感激が伝わってきます。

私も以前、台湾に旅行した際、ホテルのロビーにロータリーのマークの有る例会の案内板を見て思い切って出席した事を思い出します。思いがけず日本語が堪能な方が多く、親切にして頂きました。お土産も、特色と品質、そして実質的な料金のお店を案内していただいたり、本当に良い思い出になりました。

看板の 扶輪 (助け合う輪の意味と意思)の文字が今も焼き付いています。機会がありましたら又、海外で例会に出席してみたいと思います。

〔縦書き部〕

14P 《言いたい 聞きたい》の記事の中に『米山記念奨学金』に関する意見が出ています。

米山記念奨学金を日本の学生にも適用を!

又、留学生の受け入れこそ、今後の日本にとって、より重要である。日本人の海外への留学は「ロータリー財団」の『奨学生制度』を充実させるべき!等述べられています。どうあるべきか考えさせられました。

2P 記念講演「有田焼の伝統を語る」

7P この人、この仕事「漬物文化を守る 老舗の九代目」も知らない世界をのぞく感じでも興味のある記事です。

国際奉仕担当卓話

国際観光交流推進員

ビョン・チャンヒ女史

「近くて近い国になる韓国」



「ウリのなかに入ろう!」

こんにちは。私は藤枝市企画政策課 国際交流推進員(CIEF)のびあんひと申します。

この間は 卓話で「近くて近くなる韓国」というタイトルでお話をさせていただきました。皆さん

が隣の国、韓国についてたくさんの興味を持っていらっしゃり、下手な私の話しを最後まで聞いてくださりまして、とてもうれしかったです。本当にありがとうございました。

韓国と日本は長い歴史のできごとの中で近くて遠い国同士でした。今は本当に近い国で、たくさんの交流の中で韓国と日本は近くて近い国になっています。そんな交流が長く続くために、交流をきっかけにお互いもっと発展していくためにはお互いの存在を忘れていた時間くらいの努力の時間が必要かなと思います。

私が思う韓国人と上手く行く？交流は「ウリ」の中に入るといことです。ウリは日本語にすると「私たち、うち、私の」です。人との間で何かを交通したがる、何でも一緒にしたがる韓国人に所属感を教えてくれて、より団結力を強くしてくれる、韓国人には大事で大好きな言葉です。

韓国は半島の国で、今は東北アジアのハブとして、仁川空港、プサン港が栄えていて、今は難しそうな話となっていますが、韓国から始まって中国を横断し、ヨーロッパまでつなげる鉄道。今は位置的にアジアの中心に立てるすばらしいロケーションですが、昔は北から中国の干渉、攻撃、海からは倭寇で何回も民族の試練がありました。そんな試練があった度に韓国人は単一民族、私たちはみんなが家族という意識の中でもっと民族がもっと団結します。「ウリ」という言葉にはそんな強い意思？を込めて使うようになりました。本当の家族ではなくてもオンニ、ヌナ（お姉さん）オッパ、ヒョン（お兄さん）になれる国なんです。簡単そうなこの言葉は韓国人にとってはもっと深く複雑な意味を持っているのです。

この「ウリ」の言葉の中で韓国はハンガンの奇跡を起こすことができたし、金融危機のときは国民が私物の金を出し、早くも危機から脱出することができたし、この「ウリ」の言葉の中で何十万人の人が赤いTシャツの姿で道に出て大韓民国（テハンミンクッ）を叫ぶことができました。この「ウリ」の範囲をひろげて、韓国と日本が「ウリ」のなかに入ること今までは見たこともない、想像もできないくらい新たな奇跡が起きるのではな

いかと思います。もちろんお互いの努力が必要になるとおもいます。

その間で私も C I にも、C I のいろんな活動の中で微弱な力でありながらも、韓国のウリの中に日本が、日本のウリのなかに韓国が入られるようにお互いのために全力をあげていきたいと思えます。

最後に市 H 社「C I 巨一スレーター」も掲載しています。是非、ご覧下さい。

これからもご協力とご指導の方、宜しくお願いします。

